(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第4256830号
(P4256830)

(45)発行日　平成21年4月22日(2009.4.22)　(24)登録日　平成21年2月6日(2009.2.6)

(51)Int.Cl.			F I		
H04N	1/387	(2006.01)	H04N	1/387	
G06F	3/048	(2006.01)	G06F	3/00	654D
H04N	1/00	(2006.01)	H04N	1/00	107Z
G09F	19/00	(2006.01)	G09F	19/00	Z

請求項の数 7　(全 13 頁)

(21)出願番号　特願2004-299320 (P2004-299320)
(22)出願日　平成16年10月13日 (2004.10.13)
(65)公開番号　特開2006-115126 (P2006-115126A)
(43)公開日　平成18年4月27日 (2006.4.27)
審査請求日　平成19年5月16日 (2007.5.16)

(73)特許権者　504296954
株式会社ファーストブランド
大阪府大阪市北区堂島２丁目３番２号
(74)代理人　100067736
弁理士　小池　晃
(74)代理人　100086335
弁理士　田村　榮一
(74)代理人　100096677
弁理士　伊賀　誠司
(74)代理人　100106781
弁理士　藤井　稔也
(74)代理人　100113424
弁理士　野口　信博
(74)代理人　100116126
弁理士　山口　茂

最終頁に続く

(54)【発明の名称】データ送受信システム

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

所定の登録作業が行われた際に、固有のデータ送信用のアドレスと、固有の識別記号と、固有のパスワードを発行する発行サーバと、上記発行サーバにより上記アドレスが発行される毎に、所定のデータ容量のユーザデータ領域が形成されるデータ格納サーバと、入力された識別記号とパスワードに基づいてユーザ認証を行う認証サーバと、上記認証サーバの認証結果に応じて、上記データ格納サーバのユーザデータ領域からデータを読み出すデータアクセスサーバとを有するサービス提供部と、

被写体を撮像する撮像部と、上記撮像部で撮像された撮像データに関する付加データを生成する付加データ生成部と、上記発行サーバにより発行された上記アドレスに基づいて、上記撮像部で撮像した撮像データと、当該撮像データに関する付加データを上記データ格納サーバに送信する送信部とを有する第１の端末と、

一日単位で所定サイズごとに区分けされたデータ表示領域からなる一組のカレンダ画像と、上記一組のカレンダ画像のそれぞれに対応する複数の異なる壁紙画像とを関連付けて管理するアプリケーション・プログラムを演算処理する演算処理部と、上記演算処理部で演算処理されたアプリケーション・プログラムにより管理される上記カレンダ画像と、当該カレンダ画像に対応する壁紙画像を表示する表示部と、上記認証サーバにアクセスし、上記発行サーバにより発行された識別記号とパスワードを入力する入力部と、上記データアクセスサーバから送信された撮像データ及び付加データを受信する受信部と、上記受信部により受信された撮像データを所定のデータサイズになるようにデータサイズを変換す

る変換部と、上記変換部で変換された撮像データを、当該撮像データとともに受信された付加データに基づいて、上記表示部に表示されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に割り当てる割当部を有する第２の端末とを備え、

上記発行サーバは、発行したアドレスと識別記号とパスワードを上記認証サーバに送信し、

上記認証サーバは、上記発行サーバから送信されたアドレスと識別記号とパスワードを関連付けて記憶し、上記第２の端末が有する上記入力部により識別記号とパスワードが入力された場合に、入力された識別記号とパスワードを記憶されているものと比較照合し、照合結果に応じて、当該識別記号とパスワードに関連付けられているアドレスを上記データアクセスサーバに送信し、

上記データアクセスサーバは、上記認証サーバから供給されたアドレスに基づいて上記データ格納サーバのユーザデータ領域からデータを読み出し、読み出したデータを上記第２の端末に送信することを特徴とするデータ送受信システム。

【請求項２】

上記発行サーバは、所定の登録作業が行われる際にユーザに課金のための所定の情報の入力を求める課金部を備え、

上記課金部は、ユーザが入力した所定の情報が正当なものであると判断した場合、当該ユーザに対して固有のデータ送信用のアドレスと、固有の識別記号と、固有のパスワードを発行することを特徴とする請求項１記載のデータ送受信システム。

【請求項３】

上記付加データ生成部は、上記撮像部で撮像された撮像データが撮像された日付情報を付加データとして生成することを特徴とする請求項１記載のデータ送受信システム。

【請求項４】

上記付加データ生成部は、上記撮像部で撮像された撮像データに対して、ユーザが入力したコメント情報を付加データとして生成することを特徴とする請求項１記載のデータ送受信システム。

【請求項５】

上記アプリケーション・プログラムがアップロードされているアプリケーションサーバを備え、

上記第２の端末は、上記アプリケーションサーバからアプリケーション・プログラムをダウンロードし、ダウンロードされたアプリケーション・プログラムを上記演算処理部で演算処理することを特徴とする請求項１記載のデータ送受信システム。

【請求項６】

上記第２の端末は、上記アプリケーション・プログラムが記録されたパッケージドメディアが挿入され、当該パッケージドメディアからアプリケーション・プログラムを読み出しインストールするインストール部を備え、

上記演算処理部は、上記インストール部によりインストールされたアプリケーション・プログラムを演算処理することを特徴とする請求項１記載のデータ送受信システム。

【請求項７】

上記第２の端末は、上記表示部に表示されているカレンダ画像のデータ表示領域に表示されている撮像データを選択するポインティングデバイスと、

上記ポインティングデバイスにより選択された撮像画像を編集する編集部を有することを特徴とする請求項１記載のデータ送受信システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、撮像した画像データを送信し、送信された画像データを受信し、受信した画像データを任意の位置に割り当てるデータ送受信システムに関する。

【背景技術】

【０００２】

従来、企業の広告媒体として、テレビ、新聞、雑誌、あるいはラジオなどが知られている。これらの媒体による広告は、一般にプッシュ型コミュニケーションと呼ばれ、ユーザに対して企業の広告情報を一方的に伝達するものであり、いかに効果的に企業の広告情報を伝達することができるかが重要である。

【０００３】

最近では、多くの消費者がパソコン等の情報端末装置を所有し、情報端末装置をインターネットに接続して多くの情報を得ることができるようになっている。そして、インターネットでは、上述した広告媒体とは比較にならないほど多くの情報をユーザに提供することができるという利点から、企業においては、インターネットを利用した広告活動が活発化している（例えば、特許文献１参照。）。

ところで、現在、インターネット上に存在する広告のほとんどはバナー広告である。このようなバナー広告の多くは、表示スペースが限られているため、ユーザによるバナー広告のクリック作業によって初めて広告の内容が明らかにされる。このようなバナー広告は、企業にとってあまり魅力的な広告形態ではない。

【０００４】

そこで、情報端末装置の表示部に表示されている背景画像、いわゆるデスクトップの壁紙画像を用いて行う広告形態が注目されている。これは、企業が自社の広告用の壁紙画像を作成し、作成した壁紙画像をインターネット又はパッケージドメディアを介してユーザに提供することにより行われている（例えば、特許文献２参照）。

【０００５】

【特許文献１】特開２００２－２２１９２６号公報

【特許文献２】特開２００１－３１２６４７号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００６】

ところで、ユーザは、同じ壁紙画像を長期間設定することは殆どなく、すぐに壁紙画像に飽きてしまい、壁紙画像を他の画像（他社の画像等）に変更されてしまう。このため、企業は、ユーザに対して頻繁に壁紙画像を提供し、その都度、新たな壁紙画像に設定してもらわねばならず、効果的に広告活動を行うことが困難であった。

【０００７】

また、近年、爆発的に普及している携帯端末には、被写体を撮像するための撮像部（カメラ）が内蔵されている。このような携帯端末を有するユーザは、撮像した画像を家族、友人等と送受信しあって、コミュニケーションを図っており、また、自己が所有するＰＣ等に送信して撮像した画像データの管理を行っている。

【０００８】

ところで、携帯端末で撮像した画像データをＰＣ等に送信する場合には、所定のデータ送受信用ツール、いわゆるＥ－ＭＡＩＬシステムを利用して行われる。Ｅ－ＭＡＩＬシステムは、予め取得されている固有のアドレスを利用して、端末間でデータの送受信を行うシステムである。

【０００９】

ユーザは、携帯端末からＰＣへ画像データを添付したメールを送信した後、ＰＣを起動し、所定のアプリケーション（メーラー）を操作してメールを受信する。そして、ユーザは、受信したメールに添付されている画像データを任意のディレクトリに保存し、保存した画像データを所定のアプリケーションに関連付ける等の操作を行い、画像データの管理を行っている。このように、携帯端末で撮像した画像データを管理するのにユーザは煩雑な作業を行う必要がある。

【００１０】

また、旅行先において、数日間に渡って携帯端末により画像データを大量に撮像した場合には、画像データの整理等が煩雑になってしまう。

【００１１】

したがって、ユーザは、携帯端末で撮像した画像データを煩雑な作業を伴うことなく整理ができるシステム（アプリケーション）を求めている。ゆえに、このようなユーザの欲求に応えるようなシステム（アプリケーション）を安価に提供し、当該システムに広告的な機能を持たせることができたならば、ユーザと企業の両者にとって利益となる。

【００１２】

そこで、本発明では、ユーザと企業の両者にとって利益となる画像データを送受信するデータ送受信システムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【００１３】

本発明に係るデータ送受信システムは、上述の課題を解決するために、所定の登録作業が行われた際に、固有のデータ送信用のアドレスと、固有の識別記号と、固有のパスワードを発行する発行サーバと、上記発行サーバにより上記アドレスが発行される毎に、所定のデータ容量のユーザデータ領域が形成されるデータ格納サーバと、入力された識別記号とパスワードに基づいてユーザ認証を行う認証サーバと、上記認証サーバの認証結果に応じて、上記データ格納サーバのユーザデータ領域からデータを読み出すデータアクセスサーバとを有するサービス提供部と、被写体を撮像する撮像部と、上記撮像部で撮像された撮像データに関する付加データを生成する付加データ生成部と、上記発行サーバにより発行された上記アドレスに基づいて、上記撮像部で撮像した撮像データと、当該撮像データに関する付加データを上記データ格納サーバに送信する送信部とを有する第１の端末と、一日単位で所定サイズごとに区分けされたデータ表示領域からなる一組のカレンダ画像と、上記一組のカレンダ画像のそれぞれに対応する複数の異なる壁紙画像とを関連付けて管理するアプリケーション・プログラムを演算処理する演算処理部と、上記演算処理部で演算処理されたアプリケーション・プログラムにより管理される上記カレンダ画像と、当該カレンダ画像に対応する壁紙画像を表示する表示部と、上記認証サーバにアクセスし、上記発行サーバにより発行された識別記号とパスワードを入力する入力部と、上記データアクセスサーバから送信された撮像データ及び付加データを受信する受信部と、上記受信部により受信された撮像データを所定のデータサイズになるようにデータサイズを変換する変換部と、上記変換部で変換された撮像データを、当該撮像データとともに受信された付加データに基づいて、上記表示部に表示されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に割り当てる割当部を有する第２の端末とを備え、上記発行サーバは、発行したアドレスと識別記号とパスワードを上記認証サーバに送信し、上記認証サーバは、上記発行サーバから送信されたアドレスと識別記号とパスワードを関連付けて記憶し、上記第２の端末が有する上記入力部により識別記号とパスワードが入力された場合に、入力された識別記号とパスワードを記憶されているものと比較照合し、照合結果に応じて、当該識別記号とパスワードに関連付けられているアドレスを上記データアクセスサーバに送信し、上記データアクセスサーバは、上記認証サーバから供給されたアドレスに基づいて上記データ格納サーバのユーザデータ領域からデータを読み出し、読み出したデータを上記第２の端末に送信する。

【発明の効果】

【００１４】

本発明では、所定の登録作業によって発行サーバが発行する固有のアドレスと、ＩＤと、パスワードを取得し、端末により、当該アドレスを利用して、データ（撮像データ及び付加データ）をデータ格納サーバに送信し、予めアプリケーション・プログラムがインストールされている端末により、当該ＩＤとパスワードを利用して、データ格納サーバに格納されているデータを取り出し、取り出した撮像データからサムネイルを生成し、生成したサムネイルをデータ格納サーバから取得した付加データに基づいて、当該アプリケーション・プログラムにより管理されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に自動的に割り当てるので、ユーザは、煩雑な作業を伴うことなく端末で撮像した撮像データを、撮像日に基づいて整理（管理）することができ、例えば、写真付きの日記を簡易に作成することができる。

【発明を実施するための最良の形態】
【００１５】
以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら詳細に説明する。
【００１６】
データ送受信システム１は、図１に示すように、データの配信を行うサービス提供部１０と、データの送受信を行う端末１１ａ及び端末１１ｂとがネットワークを介して接続されている。なお、実際のネットワークには、複数台の端末が接続されているが、以下の説明では、便宜的に端末１１ａと端末１１ｂの２台が接続されているものとする。
【００１７】
また、サービス提供部１０は、所定の登録作業が行われた際に、固有のデータ送信用のアドレスと、固有のパスワードを発行する発行サーバ１０ａと、発行サーバ１０ａによりアドレスが発行される毎に、所定のデータ容量のユーザデータ領域が形成されるデータ格納サーバ１０ｂと、入力されたパスワードに基づいてユーザ認証を行う認証サーバ１０ｃと、認証サーバ１０ｃの認証結果に応じて、データ格納サーバ１０ｂから所定のデータを読み出すデータアクセスサーバ１０ｄとを備える。さらに、サービス提供部１０は、後述するアプリケーション・プログラムが格納されるアプリケーションサーバ１０ｅを有していても良い。
【００１８】
端末１１ａは、図２に示すように、被写体を撮像する撮像部２０と、撮像部２０で撮像された撮像データに関する付加データを生成する付加データ生成部２１と、発行サーバ１０ａにより発行されたアドレスを利用して、撮像部２０で撮像した撮像データと、当該撮像データに関する付加データをデータ格納サーバ１０ｂに送信する送信部２２とを有する。
【００１９】
付加データ生成部２１は、撮像部２０により被写体を撮像した日付に基づいて付加データとして生成する。
【００２０】
また、端末１１ａは、ユーザによるコメント情報が入力される入力部２３を有していても良い。この場合には、付加データ生成部２１は、撮像部２０により被写体を撮像した日付とともに、入力部２３から入力されたコメント情報に基づいて付加データを生成する。
【００２１】
端末１１ｂは、図３に示すように、一日単位で所定サイズごとに区分けされたデータ表示領域からなる一組のカレンダ画像と、当該一組のカレンダ画像のそれぞれに対応する複数の異なる壁紙画像とを関連付けて管理するアプリケーション・プログラム（以下、管理プログラムという。）が記憶される記憶部３０と、記憶部に記憶されている管理プログラムを演算処理する演算処理部３１と、演算処理部３１で演算処理された管理プログラムにより管理されるカレンダ画像と、当該カレンダ画像に対応する壁紙画像を表示する表示部３２と、認証サーバ１０ｃにアクセスし、発行サーバ１０ａによって発行された識別記号とパスワードを入力する入力部３３と、データアクセスサーバ１０ｄから送信された撮像データ及び付加データを受信する受信部３４と、受信部３４により受信された撮像データを所定のデータサイズになるようにデータサイズを変換する変換部３５と、変換部３５で所定のデータサイズに変換された撮像データを、当該撮像データに関連する付加データに基づいて、表示部３２に表示されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に自動的に割り当てる割当部３６を有する。また、端末１１ｂは、パッケージドメディアからデータを読み出すリーダー部３７と、表示部３２上を移動するマウスポインタを操作するポインティングデバイス３８をさらに備えている。
【００２２】
変換部３５は、例えば、受信部３４により受信された撮像データに基づき、サムネイルを生成するような構成であっても良い。なお、サムネイルとは、多数の画像データを一覧表示するためにファイルサイズが縮小された画像のことである。また、割当部３６は、生

成されたサムネイルを付加データに基づいてカレンダ画像上の一のデータ表示領域に自動的に割り当てる。

【００２３】

リーダー部３７は、各種のメディアにアクセスし、記憶されているデータを読み出せるマルチリーダーである。

【００２４】

ポインティングデバイス３８は、ユーザの操作に応じて各種データの入力を行うマウスや、キーボードが接続されている。

【００２５】

ここで、ユーザ登録を行う手順について、図４に示すフローチャートにしたがって説明する。

【００２６】

ステップＳＴ１において、端末１１ｂは、発行サーバ１０ａにアクセスする。

【００２７】

ステップＳＴ２において、発行サーバ１０ａは、所定の登録手続のためのメニューを端末１１ｂに提示し、所定の情報の入力を要求する。なお、発行サーバ１０ａは、この登録手続の際に、課金のための情報、例えば、カードの口座番号及び有効期限等の入力を求めても良い。

【００２８】

ステップＳＴ３において、端末１１ｂは、発行サーバ１０ａが要求する情報の入力を行う。

【００２９】

ステップＳＴ４において、発行サーバ１０ａは、端末１１ｂから入力された情報を登録する。なお、発行サーバ１０ａは、課金のための情報が入力されている場合には、入力された情報が正当なものかどうかの判定を行う。

【００３０】

ステップＳＴ５において、発行サーバ１０ａは、固有のアドレスと、固有の識別記号（ＩＤ）と、固有のパスワードを発行する。発行サーバ１０ａは、発行した固有のアドレスと、固有のＩＤと、固有のパスワードを端末１１ｂと、認証サーバ１０ｃに通知する。また、発行サーバ１０ａは、発行した固有のアドレスをデータ格納サーバ１０ｂに通知する。

【００３１】

ステップＳＴ６において、データ格納サーバ１０ｂは、発行サーバ１０ａからアドレスが発行された旨の通知を受けた場合、当該アドレスを利用して送信されてきたデータを格納するためのユーザデータ領域を形成する。

【００３２】

ステップＳＴ７において、認証サーバ１０ｃは、発行サーバ１０ａから送信されたアドレスとＩＤとパスワードを関連付けて記憶する。

【００３３】

つぎに、端末１１ａからデータ格納サーバ１０ｂにデータを送信する手順について、図５に示すフローチャートにしたがって説明する。

【００３４】

ステップＳＴ１０において、端末１１ａは、被写体の撮像を行う。

【００３５】

ステップＳＴ１１において、端末１１ａは、撮像した撮像データと、当該撮像データに関連する付加データを、予めステップＳＴ５の工程により発行されているアドレスを利用して、データ格納サーバ１０ｂに送信する。

【００３６】

ステップＳＴ１２において、データ格納サーバ１０ｂは、データの送信に用いられたアドレスに基づき、複数のユーザデータ領域の中から対応するユーザデータ領域を検索し、

検索されたユーザデータ領域に端末１１ａから送信されてきたデータを格納する。

【００３７】

つぎに、端末１１ｂがデータを受信（取得）する手順について、図６に示すフローチャートにしたがって説明する。なお、端末１１ｂは、以下に説明するデータの受信を行う前に、管理プログラムがインストールされているものとする。また、当該管理プログラムは、ネットワークを介してアプリケーションサーバ１０ｅから端末１１ｂに提供されても良いし、管理プログラムが記録されたＣＤ－ＲＯＭ等のパッケージドメディアの配布によって提供されても良い。なお、管理プログラムがパッケージドメディアで提供された場合には、当該パッケージドメディアに格納されている管理プログラムは、リーダー部３７により読み出され、端末１１ｂにインストールされる。

【００３８】

ステップＳＴ２０において、端末１１ｂは、インストールされている管理プログラムを起動する。管理プログラムが起動された場合、カレンダ画像が表示部３２に表示され、背景画像として当該カレンダ画像に対応する壁紙画像が表示される。

【００３９】

ステップＳＴ２１において、端末１１ｂは、認証サーバ１０ｃにアクセスする。

【００４０】

ステップＳＴ２２において、認証サーバ１０ｃは、端末１１ｂにＩＤとパスワードの入力を要求する。

【００４１】

ステップＳＴ２３において、端末１１ｂは、認証サーバ１０ｃの要求に応じて、ＩＤとパスワードの入力を行う。端末１１ｂは、ステップＳＴ５の工程により予め通知されているＩＤとパスワードを入力する。

【００４２】

ステップＳＴ２４において、認証サーバ１０ｃは、端末１１ｂから入力されたＩＤとパスワードが正しいかどうかの認証を行う。なお、認証サーバ１０ｃは、ステップＳＴ２１の工程の際に、端末１１ｂがアクセスと同時にＩＤとパスワードを送信してきた場合には、ステップＳＴ２２及びステップＳＴ２３の工程をスキップする。

【００４３】

ステップＳＴ２５において、認証サーバ１０ｃは、端末１１ｂから送信されてきたＩＤとパスワードが正しい場合には、当該ＩＤとパスワードに関連するアドレスをデータアクセスサーバ１０ｄに送信する。また、認証サーバ１０ｃは、端末１１ｂから送信されてきたＩＤとパスワードが正しくないと判断した場合には、端末１１ｂに再度、ＩＤとパスワードの入力を要求する。

【００４４】

ステップＳＴ２６において、データアクセスサーバ１０ｄは、認証サーバ１０ｃから送信されたアドレスに基づいて、データ格納サーバ１０ｂにアクセスを行い、複数のユーザデータ領域の中から適合するユーザデータ領域を検索する。

【００４５】

ステップＳＴ２７において、データ格納サーバ１０ｂは、検索された結果をデータアクセスサーバ１０ｄに通知する。

【００４６】

ステップＳＴ２８において、データアクセスサーバ１０ｄは、データ格納サーバ１０ｂに対してデータの読み出しを要求する。

【００４７】

ステップＳＴ２９において、データ格納サーバ１０ｂは、データの読み出し要求に応じて、適合するユーザデータ領域からデータを読み出し、読み出したデータをデータアクセスサーバ１０ｄに送信する。なお、データ格納サーバ１０ｂは、原則的に、データ容量を確保するため、ユーザデータ領域から読み出されたデータはユーザデータ領域から削除する。

【００４８】
ステップＳＴ３０において、データアクセスサーバ１０ｄは、データ格納サーバ１０ｂから送信されてきたデータ（撮像データと付加データ）を端末１１ｂに送信する。
【００４９】
ステップＳＴ３１において、端末１１ｂは、データアクセスサーバ１０ｄから送信されてきた付加データに基づいて、撮像データを表示部３２に表示されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に自動的に割り当てる。
【００５０】
ここで、管理プログラムについて説明する。管理プログラムは、演算処理部３１により演算処理され、記憶部３０に記憶されているカレンダ画像を所定期間毎に表示部３２に切り換えて表示するとともに、当該カレンダ画像と連動して複数の壁紙画像を背景画像として表示部３２に表示するためのプログラムである。
【００５１】
図７は、表示部３２に表示されたカレンダ画像Ａ及び壁紙画像Ｂの一例を示す図である。カレンダ画像Ａは、月ごとの暦が表示されるもので、曜日枠Ｃには曜日（日（ＳＵＮ）、月（ＭＯＮ）、火（ＴＵＥ）、水（ＷＥＤ）、木（ＴＨＵ）、金（ＦＲＩ）、土（ＳＡＴ））が表示され、日枠Ｄには各日（１～３１）が表示される。また、日枠Ｄ内では、現在日を目立つように現在日枠Ｅで囲われている。なお、図中では、現在日を９月６日としている。また、現在日枠Ｅは、管理プログラムにより日が変わるたびに自動的に現在の日に移動するように管理されている。これにより、ユーザは、表示部３２に表示されているカレンダ画像Ａを一見するだけで、現在の日付を認識することができる。
【００５２】
また、カレンダ画像Ａは、各月ごとの画像が一組で構成されており、壁紙画像Ｂは、各月ごとのカレンダ画像Ａに対応する複数の異なる画像で構成されている。管理プログラムは、カレンダ画像Ａと壁紙画像Ｂとを連動して、実際の暦にしたがって自動的に切り替わるように管理している。なお、カレンダ画像Ａと壁紙画像Ｂとは、ユーザの操作に応じて手動的に切り換えられても良い。例えば、ポインティングデバイス３８によって表示部３２上に表れているマウスポインタＦが操作され、先月のカレンダ画像Ａへ移動するＢＡＣＫ釦Ｇ１又は、来月のカレンダ画像Ａへ移動するＮＥＸＴ釦Ｇ２を押圧（クリック）されることで現在表示されているカレンダ画像が先月のカレンダ画像又は来月のカレンダ画像に切り替わる。また、このようなカレンダ画像Ａの切り替わり作業に連動して、壁紙画像Ｂも適宜切り替わる。
【００５３】
また、ポインティングデバイス３８によってマウスポインタＦが操作され、取込釦Ｈが押圧（クリック）されることで撮像データの受信作業（ステップＳＴ２１）が行われるように構成されている。このようなに構成されることにより、簡易な操作によって端末１１ｂが認証サーバ１０ｃにアクセスすることができるようになる。
【００５４】
ここで、割当部３６の動作について説明する。例えば、データアクセスサーバ１０ｄから撮像データとともに送信されてきた付加データの日付が「９月５日」であった場合には、割当部３６は、図７に示すように、サムネイル化された撮像データを９月５日のデータ表示領域Ｉに自動的に割り当てる。
【００５５】
つぎに、画像の編集について説明する。各データ表示領域Ｉに表示されているサムネイルをマウスポインタＦによりポイントし、クリックすると、画像編集モードに移行し、編集画面Ｊが表れる。ユーザは、ポインティングデバイス３８を操作し、編集画面Ｊのイメージ部Ｋに表示されている撮像データを任意の方向に回転させたり、モザイク等の所定の効果を付加したり、トリミング等の各種編集作業を行うことができ、また、任意のディレクトリに格納されている画像データを読み出して、編集画面Ｊに表示させたり、編集画面Ｊに表示されている撮像データを削除することができ、さらに、コメント欄Ｌにコメント

情報を追記・削除することができる。なお、コメント欄Ｌには、データアクセスサーバ１０ｄから撮像データとともに送信されてきた付加データにコメント情報が含まれていた場合には、当該コメントが表示される。

【００５６】

このように構成される本願発明に係るデータ送受信システム１は、固有のデータ送信用のアドレスと、固有のパスワードを発行する発行サーバ１０ａと、発行サーバ１０ａによりアドレスが発行される毎に、所定のデータ容量のユーザデータ領域が形成されるデータ格納サーバ１０ｂと、入力されたパスワードに基づいてユーザ認証を行う認証サーバ１０ｃと、認証サーバ１０ｃの認証結果に応じて、データ格納サーバ１０ｂから所定のデータを読み出すデータアクセスサーバ１０ｄとを備えるサービス提供部１０と、被写体を撮像する撮像部２０と、撮像部２０で撮像された撮像データに関する付加データを生成する付加データ生成部２１と、発行サーバ１０ａにより発行されたアドレスを利用して、撮像部２０で撮像した撮像データと、当該撮像データに関する付加データをデータ格納サーバ１０ｂに送信する送信部２２とを有する端末１１ａと、一日単位で所定サイズごとに区分けされたデータ表示領域からなる一組のカレンダ画像と、当該一組のカレンダ画像のそれぞれに対応する複数の異なる壁紙画像とを関連付けて管理する管理プログラムが記憶される記憶部３０と、記憶部に記憶されている管理プログラムを演算処理する演算処理部３１と、演算処理部３１で演算処理された管理プログラムにより管理されるカレンダ画像と、当該カレンダ画像に対応する壁紙画像を表示する表示部３２と、認証サーバ１０ｃにアクセスし、発行サーバ１０ａによって発行された識別記号とパスワードを入力する入力部３３と、データアクセスサーバ１０ｄから送信された撮像データ及び付加データを受信する受信部３４と、受信部３４により受信された撮像データを所定のデータサイズになるようにデータサイズを変換する変換部３５と、変換部３５で所定のデータサイズに変換された撮像データを、当該撮像データに関連する付加データに基づいて、表示部３２に表示されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に自動的に割り当てる割当部３６を有する端末１１ｂとがネットワークを介して接続されている。

【００５７】

したがって、本願発明に係るデータ送受信システム１では、所定の登録作業によって発行サーバ１０ａが発行する固有のアドレスと、ＩＤと、パスワードを取得し、端末１１ａにより、当該アドレスを利用して、データ（撮像データ及び付加データ）をデータ格納サーバ１０ｂに送信し、予め管理プログラムがインストールされている端末１１ｂにより、当該ＩＤとパスワードを利用して、データ格納サーバ１０ｂに格納されているデータを取り出し、取り出した撮像データからサムネイルを生成し、生成したサムネイルをデータ格納サーバ１０ｂから取得した付加データに基づいて、当該管理プログラムにより管理されているカレンダ画像上の一のデータ表示領域に自動的に割り当てるので、ユーザは、煩雑な作業を伴うことなく端末１１ａで撮像した撮像データを、撮像日に基づいて整理（管理）することができ、例えば、写真付きの日記を簡易に作成することができる。

【００５８】

また、上述のように利用されるカレンダ画像は、ユーザが頻繁に閲覧することが予測され、当該カレンダ画像の背景画像となっている壁紙画像も頻繁にユーザに閲覧され得る。したがって、当該壁紙画像を企業の広告スペースとして利用することにより、企業は、効果的な広告活動を行うことができる。

【００５９】

また、カレンダ画像は、シースルー（半透明）モードに切り換えることもできる。シースルーモードに切り換えることによって、当該カレンダ画像が表示されている部分においても、背景の壁紙画像が透けて見えるので、カレンダ画像に完全に遮蔽されることなく壁紙画像全体を広告に用いることができ、企業は、ユーザの端末１１ｂを利用して、より一層効果的な広告活動を行うことができる。

【００６０】

さらに、壁紙画像は、静止した画像であっても良いし、動きのある（アクティブな）画

像であっても良い。

【００６１】

なお、本発明は、図面を参照して説明した上述の実施例に限定されるものではなく、添付の請求の範囲及びその主旨を逸脱することなく、様々な変更、置換又はその同等のものを行うことができることは勿論である。

【図面の簡単な説明】

【００６２】

【図１】本発明に係るデータ送受信システムの構成を示すブロック図である。

【図２】本発明に係るデータ送受信システムに備えられている第１の端末の構成を示すブロック図である。

【図３】本発明に係るデータ送受信システムに備えられている第２の端末の構成を示すブロック図である。

【図４】ユーザが登録作業を行う際の手順についての説明に供するフローチャートである。

【図５】第１の端末から撮像したデータを送信する際の手順についての説明に供するフローチャートである。

【図６】第２の端末がデータを取得する際の手順についての説明に供するフローチャートである。

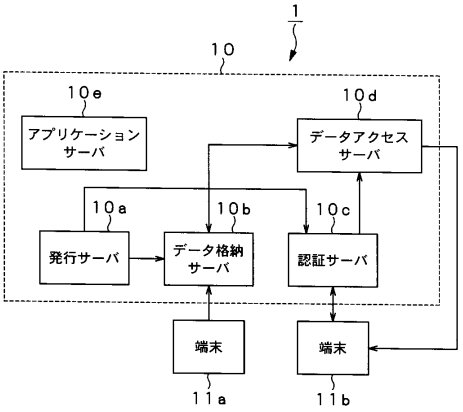
【図７】アプリケーション・プログラムに管理されるカレンダ画像と壁紙画像が表示部に表示されるときの様子を示す図である。

【符号の説明】

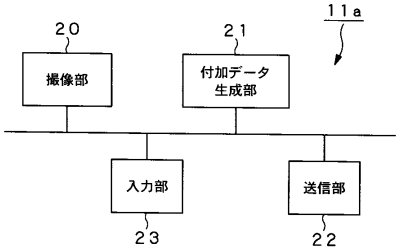
【００６３】

１　データ送受信システム、１０　サービス提供部、１０ａ　発行サーバ、１０ｂ　データ格納サーバ、１０ｃ　認証サーバ、１０ｄ　データアクセスサーバ、１０ｅ　アプリケーションサーバ、１１ａ，１１ｂ　端末、２０　撮像部、２１　付加データ生成部、２２　送信部、３０　記憶部、３１　演算処理部、３２　表示部、３３　入力部、３４　受信部、３５　変換部、３６　割当部、３７　リーダー部、３８　ポインティングデバイス、Ａ　カレンダ画像、Ｂ　壁紙画像、Ｃ　曜日枠、Ｄ　日枠、Ｅ　現在日枠、Ｆ　マウスポインタ、Ｇ１　ＢＡＣＫ釦、Ｇ２　ＮＥＸＴ釦、Ｈ　取込釦、Ｉ　データ表示領域、Ｊ　編集画面、Ｋ　イメージ部、Ｌ　コメント欄

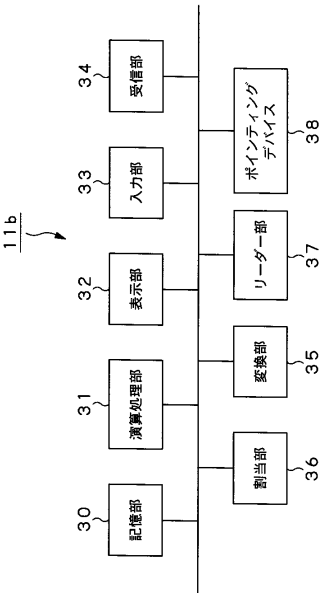
【図１】


1
10
10e
アプリケーション
サーバ
10d
データアクセス
サーバ
10a
10b
10c
発行サーバ
データ格納
サーバ
認証サーバ
端末
端末
11a
11b

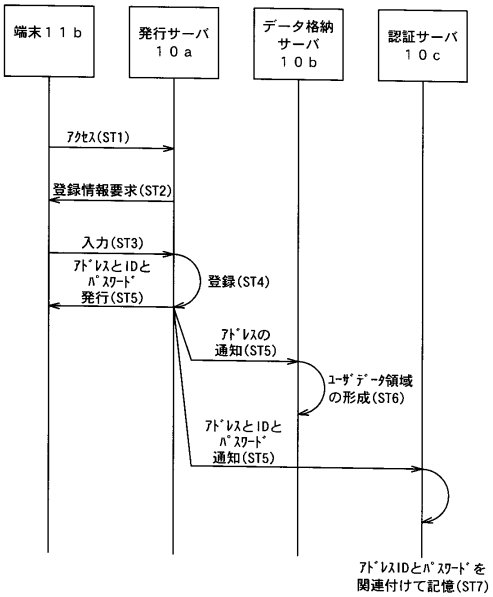
【図２】


11a
20
21
撮像部
付加データ
生成部
入力部
送信部
23
22

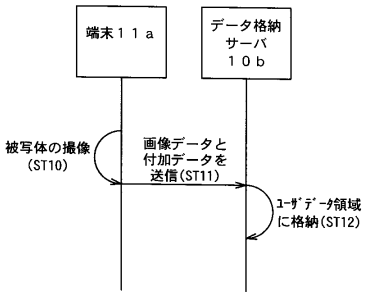
【図３】


11b
34
受信部
33
入力部
32
表示部
31
演算処理部
30
記憶部
ポインティング
デバイス
38
リーダー部
37
変換部
35
割当部
36

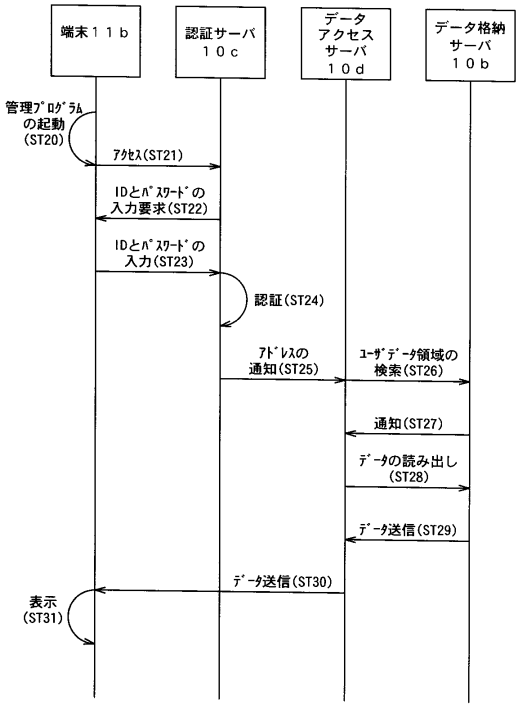
【図４】


端末１１ｂ
発行サーバ
１０ａ
データ格納
サーバ
１０ｂ
認証サーバ
１０ｃ
ｱｸｾｽ(ST1)
登録情報要求(ST2)
入力(ST3)
ｱﾄﾞﾚｽとIDと
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
発行(ST5)
登録(ST4)
ｱﾄﾞﾚｽの
通知(ST5)
ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ領域
の形成(ST6)
ｱﾄﾞﾚｽとIDと
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
通知(ST5)
ｱﾄﾞﾚｽIDとﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを
関連付けて記憶(ST7)

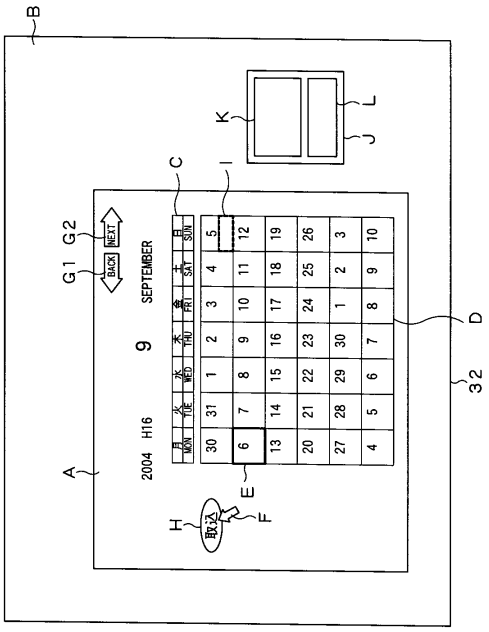
【図５】


端末１１ａ
データ格納
サーバ
１０ｂ
被写体の撮像
(ST10)
画像データと
付加データを
送信(ST11)
ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ領域
に格納(ST12)

【図６】


端末１１ｂ
認証サーバ１０ｃ
データアクセスサーバ１０ｄ
データ格納サーバ１０ｂ
管理ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの起動(ST20)
ｱｸｾｽ(ST21)
IDとﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力要求(ST22)
IDとﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力(ST23)
認証(ST24)
ｱﾄﾞﾚｽの通知(ST25)
ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀ領域の検索(ST26)
通知(ST27)
ﾃﾞｰﾀの読み出し(ST28)
ﾃﾞｰﾀ送信(ST29)
ﾃﾞｰﾀ送信(ST30)
表示(ST31)

【図７】


B
K
L
J
C
I
G2
G1
NEXT
BACK
SEPTEMBER
9
2004 H16
A
D
32
E
H
F
取込

フロントページの続き

(72)発明者　河本　扶美子
兵庫県神戸市東灘区本庄町２丁目９番２１号　カルム東灘６０４号　株式会社ファーストブランド工房内

審査官　白石　圭吾

(56)参考文献　特開２００４－２６６６３６（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－２１３６３１（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｈ０４Ｎ　　１／３８７
Ｈ０４Ｎ　　１／００
Ｇ０９Ｆ　１９／００